

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】令和1年9月12日(2019.9.12)

【公開番号】特開2017-34991(P2017-34991A)

【公開日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2017-006

【出願番号】特願2016-149250(P2016-149250)

【国際特許分類】

H 02 K 11/215 (2016.01)

H 02 K 29/08 (2006.01)

【F I】

H 02 K 11/215

H 02 K 29/08

【手続補正書】

【提出日】令和1年7月29日(2019.7.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一側に形成された第1挿入溝を含むホルダと、

前記第1挿入溝に配置されるセンサマグネットと、

前記センサマグネットをカバーするセンサキャップを含み、

前記ホルダは、他側に形成された第2挿入溝を含み、

前記第2挿入溝は、モータの回転軸と結合する役割をして、

前記ホルダは、半径方向に突出したリング状の羽根部を含む、センサ組立体。

【請求項2】

前記第1挿入溝の深さは、前記センサマグネットの厚さよりも小さい、請求項1に記載のセンサ組立体。

【請求項3】

前記ホルダは、周方向に形成した凹溝を含む、請求項1に記載のセンサ組立体。

【請求項4】

前記ホルダとセンサキャップは、非磁性材質を含む、請求項1に記載のセンサ組立体。

【請求項5】

前記センサキャップは、前記センサマグネットの一面と対向する底部及び前記ホルダの側面に結合する側部を含む、請求項1に記載のセンサ組立体。

【請求項6】

前記センサキャップは、前記側部に形成されて前記ホルダと結合する締結部を含む、請求項5に記載のセンサ組立体。

【請求項7】

前記センサキャップの厚さは、0.05～0.3mmである、請求項1に記載のセンサ組立体。

【請求項8】

前記センサキャップは、前記底部と前記側部とを連結する連結部を含み、

前記連結部は曲率を有する、請求項5に記載のセンサ組立体。

【請求項9】

前記センサキャップは、前記底部に形成される複数個の突起を含む、請求項5に記載のセンサ組立体。

【請求項 1 0】

前記センサキャップは、前記底部の中央に形成される中央孔、前記底部の外側に形成される複数個のサブ孔を含む、請求項5に記載のセンサ組立体。

【請求項 1 1】

ハウジングと、

前記ハウジングに配置されるステータと、

前記ステータの内部に配置されるロータと、

前記ロータと一体に回転する回転軸と、

請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項によるセンサ組立体と、を含む、モータ。

【請求項 1 2】

前記センサマグネットの回転をセンシングする検出部を含む、請求項1 1に記載のモータ。

【請求項 1 3】

前記検出部は、前記センサキャップの底部と対向する磁気素子及び前記磁気素子が配置される印刷回路基板を含む、請求項1 2に記載のモータ。